とごとに相當大きな制限を受けざるをえませんでした。中

一手に管理する文物局が設けられ、中國科學院には考古研央人民政府が成立してから、文化部には全國の文物工作を

## 六年來の中國における考古事業

考古事業の発展

政治も明朗をかいていたので、調査にしろ發掘にしろ、とになりますが、中國における考古事業もほかの事業と同様、正常な發展を遂げるととができませんでいた。當時、考古學に從事する人も至ってすくなかったし、した。當時、考古學に從事する人も至ってすくなかったし、した。當時、考古學に從事する人も至ってすくなかったし、心を、當時、考古學に從事する人も至ってすくなかったし、必治も明朗をかいていたので、調査にしろ發掘にしろ、とび書も不足がちなばかりでなく、國家も統一されておらず、になりますが、中國における考古事業もほかの事業と同様、になりますが、中國における考古事業もほかの事業と同様、になりますが、中國における考古を表している。

きあがったのであります。
發掘にのりだし、こうして考古工作は發展の基礎が一應で機構が設置され、各地の博物館も相前後して文物の蒐集や機構が設置され、各地の博物館も相前後して文物の蒐集や

尹

達

考古幹部の養成が焦眉の急務になってきました。それで、考古幹部の養成が焦眉の急務になってきました。それで、ま工事をすゝめられないという事態に立ち至りましたので、設工事をすゝめられないという事態に立ち至りましたので、設工事をすゝめられないという事態に立ち至りましたので、改工事をすゝめられないという事態に立ち至りましたので、対しながら、今までの考古工作者だけでは餘りにも人數がかしながら、今までの考古工作者だけでは餘りにも人數がすくなく、とうてい客観的需要に應じきれないので、青年すくなく、とうてい客観的需要に應じきれないので、青年すくなく、とうてい客観的需要に應じきれないので、青年すくなく、とうてい客観的需要に應じきれないので、青年する方式を表示した。それで、

歴史系にも大かた まず北京大學の歴史系に考古學の專門科程をもうけ、 (に靑年考古幹部の養成にのりだしたほか、各綜合大學の 「考古學通論」 の講座を開き、 歴史系の 系統

學生に考古學に關する一般知識を授けるようにしました。

早いため、 めて不そろいの實情にあるので、この事態に適應するため、 えず、 一九五二年から文化部、 かしながら、 そのうえ各地における考古工作幹部の業務水準も極 長期養成をもってしては目前焦眉の急を解決し 各地における考古工作の發展があまりにも 科學院及び北京大學で每年夏期に

ました。 のところ既に四期を終え、 の發掘實習をやらせることにしましたが、 年幹部をあつめて短期間の教室講義を受けるほか、 考古工作人員訓練班をひらくようになり、 全國各地に出向いて當地の建設工事と歩調を合せて 現在との三百餘名は二十數個の考古工作隊に分配 約三百名の卒業生をおくりだし とれが今年まで 全國各地から青 現地で

考古工作人員訓練班における教育工作にも参加し、 大學歷史系の考古學專門科程における教育工作に加 との六年間、 中國科學院考古研究所では、 積極的に北京 同時に わ 9

工作に從事しています。

には、 化部の文物局によって黄河ダム考古工作隊を組織し、 學上の發掘と整理工作にたずさわっております。 陽にそれぞれ考古工作出張所をもうけ、 務上の輔佐員とをあわせてすでに五十名ちかくにのぼり、 度からこれを養成してきました。目下のところ研究員と業 歴史系の卒業生二十敷名を相ついで吸収し、 に各地から四十數名の考古工作者をあつめ十數小隊に 古研究所は、 近いうちになお逐次増加するみこみであります。 黄河ダムの工事に歩調をあわせて、 國家の建設事業に歩調をあわせて、 兩地における考古 考古研究所と文 いろいろな角 今年の冬 さらに考 西安と洛 すで しわか

れて、 て、すでにそれ相應の發展をとげ、 要するに、 調査工作の第一歩をふみだしております。 中國の考古工作者は國家の建設の進 變させたのであります。 人員の上からも 展 組織 K 應じ

## \_ 六 年 來 の 収 獲

上からも今までの事情を

するわけにまいりませんが、 ん發見されました。 六年來、 中國各地からあらゆる時代の文化遺物がたくさ それについて、 わたくしのきき及んでいる、 今ととで全部 の 紹

ましよう。 比較的知られた發見をいくつか、簡單に項をわけて紹介し

後期の化石人類が發見されました。
を期の化石人類が發見されました。一九五四年、山西省の襄汾縣動物化石が發見されました。一九五四年、山西省の襄汾縣動物化石が發見されました。一九五四年、山西省の襄汾縣の石器片と、おびただしい動物化石が發見されたほか、若干のた四川省の資陽と安徽省の泗濱下草灣からは、舊石器時代と、おびただしい動物化石が發見されたほか、若干の大四川省の資陽と安徽省の泗濱下草灣からは、舊石器時代を期の化石人類が發見されました。

き 度にすぎません。 されただけで、そのほかはまだ調査と採集の緒についた程 西は新疆に至るまで、 北は内蒙古自治區から南は廣東に至るまで、 所も發見されています。 されています。 新石器文化の遺址にいたっては、 簡單に説明いたしましよう。 しかし、 とゝでは、 いたる處で新石器文化の遺物が發見 これらの遺址は極く一部分が發掘 これら遺址の分布は極めて廣く、 現在までに知られたものにつ との六年間に約三百ヵ 東は海濱から

一つ發掘しつつあります。とゝからは、おびただしい遺物目下われわれは、西安の半坡村で、「仰韶文化」の遺址を

て、また「仰韶文化」の具體的內容の系統的探究にとって、 ります。とれらの出土品は、 あって、 果によると、この穀粒は栗 器が完形のまま保存されていました。 の外殼をもった穀粒がはいっていました。 小さな陶罐が一つ發見されましたが、 る「仰韶文化」の墳墓が發見され、 たてた穴がのとっていました。 五〇センチの土塀がのこっており、 た。長方形の土屋の周圍には、 土塀がのとっており、家のなかにはかまどの跡がありまし 屋であります。圓形土屋の周圍には、高さ約二〇センチの つは間口十二メートル半、 しました。一つは直徑約五メートルの圓形土屋で、 を發見したばかりでなく、 今もなお華北一帶の主食物になっているものであ 奥行約二〇メートルの長方形土 居住用の土造家屋を二種 Setaria ilalica(L) 當時の社會歷史の研究にとっ 同じ場所から、 厚さ約一メートル、 塀のなかには木の柱を おびたゞしい副葬の陶 なかにはもとのまま また、 初步的鑑定の結 との遺址 百基に Beauv. ゃ 高さ約 もう 類發見 から のぼ

遺址は比較的すくなかったが、との六年間、との一帶からとれまで、中國の東南一帶から發見された新石器時代の

極めて重要な資料であります。

研究にたいし豊富な内容を提供したと同時に、 湖熟鎭、 そ あります。 の遺址においてはある程度の發掘工作がおこなわれました。 も多くの新石器時代の遺物が發見され、 のうち重要なものは、 浙江省杭州の老和山、 とれ らは中國の東南地區 江蘇省淮陰縣の青蓮岡、 福建省福州の雲石山などで にか そのなかの一部 ける新石器文化の また若干の 江寧縣 の 分

新しい

問題をも提供しています。

なるに違いありません。

た陶片や黑色陶片や條文の陶片などがあるばかりでなく、 の特徴は極めて注目すべきものがあり、 屈家嶺でも新石器時代の遺址を發見しましたが、 残片が見あたらないということであります。 黑色陶片もあり、 時代の遺址が一つ發見されました。 韶文化の遺物であります。 に屬する陶器の特徴としては、 の足などがあります。 したが、 河 . 北省曲陽の釣魚台からも新石器時代の遺址を發見しま なかには石斧と石環、 陶鼎の残片もたくさんあり、 これは河北省で始めて發見された仰 河南省信陽の陽山からも新石器 彩色陶片があり、 赤色陶片、 との遺址の同一文化層 龍山式の孔をあけ 彩色陶片、 湖北省京山 たゞ陶鬲 その 光澤ある 陶器 陶鼎 0 の

> における相互關係をあきらかにする重要なキーポイントと ところがあります。 江蘇省淮安の青蓮岡から發見された彩色陶片と似かよった の彩色をほどこした陶片の表面はみがいておらず、 ととであって、 般の「仰韶式」 これは長江流域と黄河流域との新石器時代 彩色陶片のそれと異っており、 との類型の遺址の發見は極めて重要な か えって

資料であります。 代から青銅器時代へ おびただしく發見され、 陶器があり、 吉林省の西團山及び河北省の唐山からは、 銅器も少しはありました。 の 過渡期の研究にとって極めて重要な その副葬品のなかには大量 とれは新石器時 石棺の墳墓 一の石 が

4

見しました。 跡を發掘したほか、 たが、 遺跡はほとんど知られていないといってもいいぐらいでし 屯村附近に局限されており、 今までは、 との六年間引きつづき小屯村附近で殷代の墳墓や遺 殷代の文化遺跡とい その他の地區でも多くの殷代遺跡を發 その他の地區における殷代の えば、 お か か た安陽の小

九五二年から鄭州市で當地の殷代遺跡の發掘が開始さ

少數ではあるが彩色した陶片もまざっていました。これら

げることができます。また、卜骨やすこしの字をほった骨器製作の遺跡、陶器を焼いた窰跡、殷代の墳墓群などをあル、間口約四メートル半の長方形の家屋、鑄銅の遺跡、骨なからず發見されております。なかでも、奥行約五メート

大腿骨もあります。そのほか加工用の砥石も發見され、その大部分は動物の肢骨であるが、人間の量に發見され、その大部分は動物の肢骨であるが、人間のや炭末が大量に出てきたほか、坩堝や容器ならびに兵器の片もととから發見されています。鑄銅の遺跡からは、銅査

遺址の層位ならびに遺物の特徴を分析すると、遺址自體をりも古いと考えられます。鄭州の二里岡で發掘された殷代遺物や遺跡の特徴からみるに、この遺址は小屯村のそれよす。また骨器の半製品もあり、完成品もあります。大量のす。また骨器の半製品もあり、完成品もあります。大量のの幾つかには骨器を磨いたさいのくぼみまでのこっていま

する物質的資料を豊富にしてくれました。見されました。とれらの發見は、殷代社會生活の研究に對山東省の濟南から、河北省の曲陽からも、殷代の遺址が發山東省の濟南から、河北省の曲陽からも、殷代の遺址が發

銘文から周の穆王時代(紀元前十世紀後半)のものであると D, かには銅の鼎・盃及び鐘、 めた「腰坑」 たが、その墓室のなかには、 います。 との六年間、 銅盉のうえには五十四文字からなる銘文があり、 西安の斗門鎭から西周時代の墳墓が發見されまし がありました。 各地で周代の墳墓が少なからず發見されて ならびに灰釉のつい ととから發見されたもののな 殷代の習慣に一致する犬を埋 た陶豆があ その

その銘文からして周の成王時代(紀元前十一世紀末葉)のも見され、銅骰の一つの表面には百四十六字の銘文があり、らは鼎・鬲・段・盤・盃・觥などの銅器や銅製の馬具が發

とがわかります。

江蘇省丹徒の煙墩山にある西周の墳墓

や河南省洛陽の西郊からも西周時代の墳墓が發見されていなどという文字がみえます。その他、山西省洪趙の坊堆村

61.

がかりと多數の資料を提供してくれました。

さらに前後二つの時期に分けることができます。

との遺址

銅器十六點が發見され、そののであることがわかります。

その銘文のなかには

「屡(燕)侯」

熱河の凌源海島營子村からは

殷商文化の發展を研究する上に極めて重要な手

鼎 近郊からは、 天秤及び分銅が發見され、 器 沙からは木槨の墳墓が發見され、 銅器 徽省壽縣では今年發見した蔡侯墓のなかに銅器 省では長沙と衡陽などがそうでありますが、 及び靈寶、 ました。 の弓、木製の楯、 簡も發見されております。 の かなり多く發見されています。 大變重要な發見であります。 の唐山、 出土狀態から當時の車制を再現することができます。 との六年間に、 戈等に銘文が多い)玉器・漆器等千餘點あり、 ・金銀象嵌の器や玉器が發見され、 河南省では洛陽・ 邢台及び北京の近郊からも發見されています。 玉器・ 陝西省では西安と寳鷄、 東周時代の墳墓が多量に發見され、 多くの地方から東周時代の墳墓を發見し 革製の甲なども發見されました。 木器及び残絹などがあり、 また、 輝縣· 矢のはいっている木製の箙や竹 輝縣ではおびただしい副葬の しかも、 安陽 竹筐のなかからも毛筆・ なかに 多くの 安徽省では壽縣、 ・鄭州・ 鐵製の生産器具も 發見された車馬坑 ほ 字のかい 再縣・ かに河北省 (編鐘・列 銅器 多くの とれ 洛陽の 湖南 陜縣 た竹 安 長 陶 は

> その他の各地にも零さいな發見が少なからずありますが、 見され、 からは、 器や半瓦當の残片などがあります。 積が發見されました。 は、 見いだすことができます。 器を分析研究すれば、 の基本法則を組みたてることができます。 をたどっていけば、 代の前後、 ます。ここにあげましたのは比較的重要な遺跡だけです。 分布範圍の相當にひろい、 副葬品のなかには大量の銅器と秦半兩などがあり それぞれ丸太をくりぬいて作っ 異った時期における墳墓の形制と副葬品の變化 東周時代のとの方面に關する發展變化 東周墳墓に對する時代區分の規準 なかには鐵製の生産器具があり、 洛陽にある東周墳墓の附近から 內容の豊富な東周文化 四川省の昭化及び巴縣 た舟型の木棺 また、 大量 が發 の堆 あ陶 陶

前後に及んでいます。く、發掘された漢代の墳墓だけで、全國通算すれば二千基く、發掘された漢代の墳墓だけで、全國通算すれば二千基は極めて大きいものがあります。殊に漢代の墳墓發見は多との六年間に全國各地からえた漢代の遺跡や遺物の収獲

とれぐらいの程度にしておきましよう。

ました。 わ n わ その城基の殘跡は各邊約 n は洛陽 の西 |郊で、 漢代の 一四〇〇メ 河 南縣 の 城 1 並 トルの正方 を發見し

器とおびただしい陶器を手にい

れました。

とれら墳墓の時

ま。裏、

山西

(省の聞喜及びその他の地方からも發見されて

畵像石の墓は、

江蘇省の江寧、

安徽省の亳縣、

それ

できます。

これは漢代の社會生活の變遷史を研究する上に

極めて重要なしごとであります。

空心塼の墓は、

安徽省の

の調査をしましたが、大部分はまだ發掘するに至っており管掘をつゞけていますが、その他各地の漢域の遺址は一應らびに五銖錢を發見しました。この漢城の遺址は目下なおらびに五銖錢を發見しました。この漢城の遺址は目下なお

ません。

漢代の墳墓は洛陽でたくさん發見されました。

洛陽の焼

漢代の墳墓に關する時代區分の標準をまとめあげることが 量 墓をとって時期の前後に従って排列し、 などがあります。これらの墓は漢代のかなり長い期間を占 溝だけでも二百六十數基にのぼっています。 めるものであって、 V にのぼる副葬品 空心塼の墓、 の變遷から分析研究をすすめていけば、 はっきりその時期を考證しうる若干の 土壙の墓、 こどもを埋めた瓦棺 その墓の形制と大 その墓制 から

> でてきました。 墓が發見され、 描かれていました。 墓一基が發見され、 地區に少くありません。 から他省の若干の地方からも發見されました。 したかたい陶器などがあり、 木船の模型などもでています。 の木槨墓を發見しましたが、 その他の漢墓からは木俑や木車、それから なかから漆器・陶器・馬蹄金や木簡などが 湖南省の長沙では、 壁の上に人物や禽獸などがいきいきと 河北省の望都では、 特にめぼしい發見としては なかには銅器・陶器・ 廣東省の廣州市近郊で西 長沙の王族劉驕の 彩色壁 崖墓も四 釉を施 の漢 玻 漢 Ш

らは、 でてき、 器及び西漢の銅鏡などをもった墓葬が發見されています。 ħ 像がほってありました。 かからは、 南省の昭通や魯甸で發見されたいくつかの有文塼の墓のな 「オルドス」青銅器と西漢末の銅鏡とがいっしよに發見さ これらの漢代の遺址、 雲南省晋寧の石寨山では副葬品として銅器・銅鼓・兵 とのほかに木製や陶製の船の模型がでています。 また、 銅洗・ 石棺も一つ發見され、 銅盂・鐵器・ 内蒙古自治區綏東の藍虎溝からは ことに多數にのぼる漢墓の發見は、 陶俑• 上面に伏羲と女媧の 錢及び五銖錢などが 雲

廣州の漢墓

璃の碗・璧・帶鉤及び貫珠などがあります。

術・工藝及び交通等各方面の研究にとっても極めて貴重な 漢代の社會歷史と實際生活の研究に、 かも多様な資料を大量に提供するものであり、 いきた、 具體的· 當時の美 な

のであります。

天柹山石窟寺を發見しています。 積山石窟が調査されました。 は延昌二年(紀元五一三年)であります。 に至る石窟三十五個石龕八十七個あり、 との六年の間にまた、 甘肅省永靖の炳靈寺石窟や武威の 炳靈寺には北魏から唐代 甘肅の天水では麥 もっとも古い題 記

> 1 り、

でいます。 年)、 朝から唐代にいたる石像が大量に發見されました。 の紀年像があり、 は武定三年(紀元五四五)となっています。 點は紀年があり、 太原の西郊からは三十敷點の造像が發見され、そのうち二 新しいものは唐の天寳九年(紀元七五〇年)におよん 四川省の成都にある萬佛寺の廢寺址からも、六 古いものは北魏の神龜三年 一つは興和二年(紀元五四〇)、もう一つ (紀元五二〇 山西省

これら石窟と佛像の發見は、

佛教史や藝術史の研究にと

點にのぼる石の佛像が發見され、

そのなかに二百三十數點

福

北省の曲陽にある德修寺の廢寺址からは、

二千二百餘

て絶好の資料であります。

四川省成都の楊子山にあった晋墓の塼には「泰始十年」(紀 墓塼に永嘉五・六・七年(紀元三一一―三一二)の紀年が か發見されています。 八年の墓が發見され、 元二七四年)という文字がみられました。 の墓中にはみな副葬品として陶磁器がはいっ った圭首の石碑がありました。 は晋朝の賈后の乳母であった徐美人の墓と永寧二年と太康 は晋朝の名將周處の墓が發見されました。 陶製の四耳壺があり、 魏晋南北朝の墓葬に關するものも、 建省・湖南省などからも六朝の墳墓が發見され、 墓のなかには漆器・金銀の首飾・黄緑釉を施したかた 廣州市の仔岡で發見された晋墓 徐美人の墓には千言に及ぶ碑文をほ 五銖錢及び貨泉などがありました。 その他、 この數年間にいくら たとえば江蘇省 河南省の洛陽で 江蘇省の宜興で ています。 . とれ には、 6

には、 きました。 れ 發見されました。 隋唐から宋元にいたる墳墓も、 なかから彩釉の陶俑・磁器ならびに買地券などがでて それぞれいきいきとした壁畵が見られました。 河南省安陽天禧鎭の宋墓及び山西省平定の元墓 四川省の成都からは宋の火葬墳が發見さ との六年間に少なからず

では五百あまりの宋墓と金墓を發見しましたが、そのなか K は陶磁器がたくさんありました。

代の農家を發見しました。 歩調をあわせて、 とって極めて重要なものであります。今後とも基本建設と 城壁の遺址を調査したし、 まり注意しませんでしたが、 V 唐宋時代の住居址の調査や發掘に對しては、これまであ きたいと思っております。 逐次にこの方面の工作をも、 遼寧省鞍山市の陶官屯で金元時 これは當時の社會生活の研究に との六年來、 洛陽にある隋唐 おし進めて

温州からは夫々唐代の窰址が、 物資料を加えることになります。 ていけば、 ます。これらの窰址を更に一步進んで發掘・ 廣東省陽江の石灣村からは夫々宋代の窰址が發見されてい 陰の鐵罐嘴・江西省景德鎭の石虎灣と勝梅亭及び浙江省の V ます。 磁器を燒いた窰址は、 浙江省蕭山の上堇からは晋代の窰址が、 中國磁器工藝史の研究にとって極めて貴重な實 との六年間に少からず發見されて 福建省の晋江・水吉と徳化、 整理 湖南省湘 ・研究し

料の把握が不十分なために、紹介すべくしてもれたものも 以上、 六年來のおもな収獲を簡單に紹介しましたが、 材

> ないし、歴史的な研究とも照合した正確な評價を與えても ようなもので、 あり、紹介したものも、 りません。 もう一歩掘り下げた綜合的な研究も經てい 實はまだ體系化されぬ資料目錄の

## Ξ 現段階における中國考古工作の特徴

お

結合し、 それだけに考古學的發掘工作の特徴も、 して調査と發掘工作をくりひろげてきたわけです。 ってきたのであります。 との六年來、 それぞれの地區における建設工事と步調を一つに 中國の考古工作は國家の基本建設と密切 自らそとにそなわ だから、 Ŕ

或る種の遺存だけを目あてにして發掘をすすめ、 前の考古工作者の發掘ぶりを見るに、 積過程に對して必要な注意がはらわれていない場合がよく 往にして缺けるところがあり、 はしばらくあとまわしにするというととができました。 つの地區における全面的かつ系統的な發掘にあります。 て或る地區における地下の遺存に對する全面的了解は往 先ず、今日の中國における考古工作の第一の特徴は、 その遺跡や遺物の歴史的堆 往々、 たゞ一地の、 他のもの 以 從

また洛陽の如きは、 葬にたいしても同様に發掘をしていかなければなりません。 址を發掘したばかりでなく、 るようになりました。 に對し全面的、 ないので、 地 ありました。 の地下の遺存は全面的に發掘整理していかなければなら 中國の考古工作者は、 現在の段階では、 かつ眞劍にしごとを進めてゆくことができ 三千年前にかって西周の東土の天都で たとえば西安では、 殷周秦漢隋唐以來の遺址や墓 基本建設の必要上、 地下にある各時代の遺存 新石器時代の遺 或る一

その他、鄭州・長沙などもほぼ似たような事情にありまれに殷代の遺物もあるわけであります。との六年來、ととれに殷代の遺物もあるわけであります。との六年來、とと地下には極めて豊富な文化的遺物が埋藏されています。そ

唐

後梁及び後唐など各時代の建都の地であっ

た關係上、

あったし、

その後もずっと戦國・曹魏

・西晋・

北

魏・隋

ぼ似たような事情にあります。

墓を例にとってみても、去年、河南省の洛陽における洪水時代に屬する遺跡や遺物の大量發見にあります。漢代の墳今日の中國における考古工作の第二の特徴は、同一歷史す。

その他、戦國時代の墓葬、新石器時代の遺址についてもほの選陽市附近からも二百餘基發見されています。そのほか、の選陽市附近からも二百餘基發見されています。そのほか、原北の鞍山市や廣州市の附近からも少なからず漢墓を發見東北の鞍山市や廣州市の附近からも少なからず漢墓を發見まれています。そのほか、防遏工事地區からだけで二百餘基の漢墓が發見され、東北防遏工事地區からだけで二百餘基の漢墓が發見され、東北

まい、 發表を要求すると同時に、 がてぼうだいな、 けです。そうしなければ、 こうして始めて考古工作の水準が逐次に高められてゆくわ V 應の綜合的研究をいちはやく進めるよう要求されます。 きおいその中の典型的な特定の遺存のいちはやき整理と 同 歴史時代に屬する遺物の、 應の系統的な知識すら得られなくなるのは必然で **亂雑かつ無秩序な資料の山に埋もれてし** 材料はふえてゆくば 大量にのぼる資料にもとづいて とのような大量な發見は、 かりで、

調査發掘工作が基本建設の需要に、なお十分に應じきれな目下の中國考古事業におけるもう一つの顯著な現象は、

あります。

段階にあるためで、これが工作の進展に相當な困難をきた 中國の考古事業の發展がわりあいに速く、 需要においつけない實情にあります。そのおもな原因 す。從って、 かつおくれずに任務を完成することができないのでありま たつて調査と發掘に忙殺されているにもかかわらず。 者の敷があまりにすくなく、 れており、 ということであります。 報告書の出版工作に至っては、 室内の整理は發掘工作にくらべて遙かにおく 多數の考古工作者が長期間 青年考古學者はいまだ成長の 在來の老考古學 なおさら客觀的 なお にわ

げることなどであります。 規模な調査と發掘の組織方法を研究して、 な資料の整理方法を研究して、 作能率を高める一方、 年考古工作者のもっと能率的な養成方法を見出すこと、 を目下研究中であるが、 叙上の特徴にたいし、 整理工作の手續を短縮し、ぼうだい 中國の考古學者は工作改善の方策 たとえば、目下の事情のもとに青 時を失せず報告書を作りあ 田野における工 大

しているのであります。

ゆく方途をさがし、 か れわれは實際工作のなかで、 各國の考古學者から貴重な體驗をくみ とれらの困難 を解決して

> とり、 っての重大な困難を突破してゆくつもりであります。 われわれの遭遇した實際の事情にてらし、さしあた

九五五年十一月二十三日稿

## 明 代 满 蒙 史 料 (明實錄抄)

A

5

判

滿 洲 篇

既)

(刊

篇

三三四

豫約價

洲 篇 二三四

豫約價 八

0

Ö

豫約價 各 各九〇 九〇 ŏ ŏ 圓 Ē

本・東洋文庫本及び梁鴻志本を彼此對校したものである。 せて抄錄し、 び明朝の政治・經濟・軍事等にわたる對滿蒙政策をもあわ 皇明實錄の中から蒙古・滿洲諸民族に關する一切の記事及 に總索引一册の豫定。 全十五卷、 京大本をもとに宮内廳圖書館本・上野圖書館 滿洲篇六册、 たゞし蒙古篇一は最終頒布。 蒙古篇九册。 各册約七百頁。 別

會

頒布部數極めて僅少につき至急豫約申込まれたし。

京都大学東洋史研究室内

史 料 刊 行

滿